

2019年度 佐野市立出流原小学校グランドデザイン

教育振興基本計画

- ・自立・協働・創造モデルとしての生涯学習社会の構築

栃木県教育振興基本計画

- ・とちぎから世界を見つめ 地域とつながり 未来に向かって とともに歩み続ける人間を育てます

佐野市学校教育指導計画

- ・心豊かで、自ら学び、たくましく生きる児童生徒の育成

教育目標

自ら学び考え、心豊かに、元気に生きるけやきっ子

保護者・地域との協働

- ・地域に学び、地域を学ぶ、開かれた学校を目指します。

〔保護者と地域の信頼〕

- ＊三つの「S」により、保護者と地域からの信頼と信託を得られるよう努めます。
- ・「誠意」ある対応
- ・「真実」に基づく対応
- ・「スピード」ある対応

〔地域の教育力の充実〕

- ＊出流原・寺久保地区の教育力を、共に活かします。

〔『いずてら学』のすすめ〕

- ＊「地域に学び、地域を学ぶ活動」(『出流原・寺久保学』)を充実させ、『さの学』へとつなげます。

- ・PTA (保護者)、家族
- ・学校評議員
- ・2町会
 - ・出流原町会
 - ・寺久保町会
- ・学校支援ボランティア
- ・放課後子ども教室
- ・子ども会育成会連絡協議会
- ・佐野中央スポーツクラブ
- ・けやき会 等

『The IZURUHARest』

最上級を目指し、
結果で示す

学校力・教師力の向上

- ・研修と同僚性で、学校力、教師力の向上を図ります

《めざす学校像》

- 元気な歌声がひびく、楽しく美しい学校

《めざす教師像》

- 子どもを愛し、夢をもって共に前進する教師

〔学校力の向上〕

- ＊学校評価を、学校力の向上に活かします。

〔『同僚性』の向上〕

- ＊「みんなで困って、みんなで考え、みんなで解決」を基本姿勢として、『同僚性』の向上に努めます。

〔『授業力』の向上〕

- ＊年間、一人2回の授業公開(研究授業)の実施により、主体的な教師力の向上に努めます。

一人一人を生かし伸ばす教育の実践

- ・インクルーシブ教育推進の理念に基づき、「一人一人を生かし伸ばす教育活動」を、実践します

《めざす子ども像》

- かしこく
 - ・自ら学び、よく考え表現できる子
- やさしく
 - ・情操豊かで、思いやりのある子
- たくましく
 - ・健康で、最後まで努力する子

〔インクルーシブ教育の推進〕

- ＊児童一人一人を生かし伸ばすために「子どもを信じ、関わり続ける」ことによって、「インクルーシブ教育」を推進するとともに、学力向上を目指します。
- ＊「安心して学べる学級」づくりに努めます。
- ＊「分かりやすい授業」づくりと実践に努めます。
- ＊「合理的配慮」についての理解を深め、充実に努めます。

〔『心のさのし合言葉』と『立腰』の実践〕

- ＊『心のさのし合言葉』と『立腰』の実践により、基本的な生活習慣の改善を図ります。

【学校研究課題】

「一人一人を生かし伸ばす教育活動の実践～インクルーシブ教育推進の視点からのアプローチ～」

《学校経営の方針》

- (1)豊かな人間性や社会性を育てる教育〈豊かな心〉
- (2)主体性と創造性を育てる教育〈確かな学力〉
- (3)たくましく生きるための体力と実践力を育てる教育〈健やかな体〉
- (4)地域と共に児童を育てる教育